



山武郡環境衛生事業振興組合の収集車によって、毎週月曜日と木曜日に行なわれているが、組合の条例で、年末の最終収集日は28日まで、年始は4日から行うことになっている。昨年末は収集する曜日の関係で12月25日(木曜日)が最終収集日となつてしまい、年始の収集が5日(月曜日)であったことから、10日間にわたって収集が行われなかったのが実態である。これは、組合運営を五町村で行っていることから、やむを得ないことではあるが、このほかにも不都合を生じているケースもあるようなので、今後、五町の担当課長会議等で、収集日の延長等も含めた改良案の検討を行っていただき、事前に収集日等の徹底についてよく周知するなどの

行財政改革

対策を図るよう努力して行きたい。ちなみに、平成10年末の横芝町の最終収集日は12月28日(月曜日)で11年の年始は1月4日(月曜日)であるため、今回のようなことはないと思う。

問 ①大蔵省を舞台にした接待汚職事件が、連日テレビやラジオ等で報道されているが、国や県からの多くの委任事務、行政事務を取り扱う町長はこの問題をどう受けとめているか。また、職員への指導はどのように行なっているのか。②監査執行体制の強化についてはどのように考えているのか。

答 ①あつてはならないことが今盛んに報道されており、私も公務員の一人として全く遺憾の一言に尽きるものと考えている。我々が生活を営んでいく上では、お互いに良識の範囲内での交流というのは当然しなければならぬし、これによってコミュニケーションが図れるものとも考えられ、そういう意味では俗に言う社会通念上必要な場合もあると思われる。しかしながら、連日報道されている問題等については、私たち一人一人がこれを考え排除し、絶対にそういうことがないように努力していかなければならないものと思つている。当庁では、以前から各職

員に公務員としての倫理に外れない行動を取るよう指導を行なっているが、今後も、課長会あるいは文書等で指導して参りたいと考えている。②当町では、知識と経験豊富な2名の監査委員さんに、行政の各般にわたつてのご指摘やご指導をいただいているところであるが、今後も、監査委員さんの意見を十分尊重しながら、行政事務を円滑に推進したい。

少子化問題

問 少子高齢化が進む現在、わが国では、ついに一人の女性が生む子供の数が1.5人を割つてしまった。当町ではどのような出生率の増加対策を行なっているのか。

答 これは国全体の問題であるとともに、市町村にとつても大変重要な問題でもある。最近5年間の出生率は、全国的に大幅な低下傾向にあり、この自治体でもこの出生率を回復させる対策に大変苦慮しているところでもある。当町では、子供を持つお母さんが安心して仕事ができるようにと、乳児保育の受入れ体制の強化、あるいは集団保育になじむための障害児の受入れ体制の強化、さらには、通常の保育時間を越えた延長保育の実施など、子育てのための環境整備を図るというところで検討を行なってきた。乳児保育や障害児保育についてはすでに実施しており、平成10年度からは、第二保育所で延長保育を実施する予定である。今後も、子供の育てやすい環境づくりを一つ一



子供の育てやすい環境づくりを目指し

水環境問題

問 近年、文化生活の発展とともに、宅地開発等によって雨水が地下浸透しなくなつたと言われているが、一方では、地下水の需要は増え続けており、地盤沈下などの弊害が出ている地域もあると聞く。このようなことから、当町でも地盤沈下の防止対策の一つとして、雨水浸透升の設置等を考えてみてはどうか。

答 千葉県は半島という地形的な見地から、将来的には地下水が不足してしまうという見方もあり、今後も、自然の水を大切にしていかなければならないと認識している。「水は緑の地球の血液」とも言われるとおり、人類が生きていく上では欠くことができない大変重要なものがあり、地下水不足が問題となつている都市部などでは、雨水浸透升等を設置している自治体もあると聞いている。当町で浸透升の設置を行なうかどうかについては、今後の検討課題であると思うが、植樹や公園など、緑地帯の造成等を今後も積極的に行ない、少しでも雨水が地下浸透できるように自然環境の保持に努めて行きたいと考えている。